

地域コース・方南和泉コース

# 大人の寺子屋

～学びで得られた地域の“ち”から～

学 習 支 援 者 後藤 裕子

学 習 支 援 補 助 者 岩崎 彰宏

飯島 典子

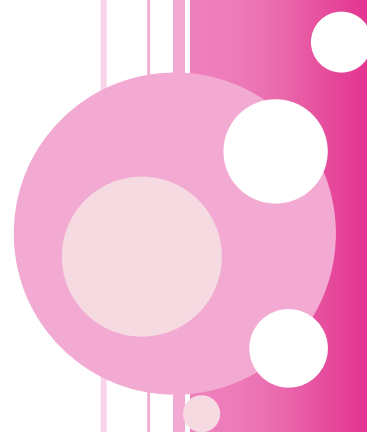
田中 美江子

前田 穂奈実

矢口 祥子

矢部 由美子

吉橋 正美



# 方南和泉コース

## 1. 概要

方南和泉コースは最終年度 3 年目の開催となりました。3 年間の目標を「地域の拠点づくり」と置き、1 年目は地域の面白い人を掘り起こし、「方南和泉人物カルタ」という形でまとめました。2 年目は拠点づくりの前段として、「拠点を使ってくれる人のつながりをつくろう」ということで開催しました。そして集大成の 3 年目の今年、「方南和泉地域全体を暮らしの拠点・自らの居場所として、安心して暮らし続けられるようなまちにしていけるための学びを提供すること」をモットーに、「大人の寺子屋～学びで得られた地域の“ち”から～」というタイトルでスタートしました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンライン会議システムを活用した講座開催もありましたが、今年度においては、すべての回を対面開催することができました。初回講座では、地域コースのイントロダクションとして「地域でつながること」の面白さを、第 2～4 回目の講座では、日々の暮らしに密接に関わりのある「防災・ごみ・ユニバーサルデザイン」についてゲスト講師からの講演やワークショップを通して学びました。第 5 回の講座において、3 つのテーマで得られた学びを、グループごとにまとめて、最終回の講座で発表する形を取りました。学びで得られた地域の“ち”からを更に地域に広めるため、今回の学びをリーフレットの形にまとめ、発行することを目標に、講座終了後も案内人で作業を進めています。

## 2. 実施状況 講座内容及び参加者数（全 6 回 受講決定者 23 人）

日	内容	参加人数
7/11（月） （方南会館）	地域とのつながりとは？～はじめの一步を踏み出そう～ ゲスト：西川正 （特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉 常務理事）	18 人
7/28（木） （専修大学附属高等学校）	安心・安全な暮らしとは？～地域の防災を考えよう～ ゲスト：山内泰彦（堀ノ内南町会防災会 副会長）	24 人 ※うち単発 参加者数 9 人
8/18（木） （方南小学校）	〈公開講座〉ごみと暮らしの関係性とは？ ～身近な環境問題に取り組もう～ ゲスト：滝沢秀一（マシンガンズ）	30 人 ※うち単発 参加者数 15 人
9/15（木） （方南会館）	誰もが暮らしやすい地域とは？ ～ユニバーサルデザインから学ぼう～ ゲスト：星川安之（公益財団法人共用品推進機構 専務理事）	17 人

10/6 (木) (方南会館)	つながりと学びで深まる地域の“知”から ～これからの活動を考えよう～	15人
10/27 (木) (方南会館)	住み続けたいまち No. 1「方南和泉」へ ～次の一步を踏み出そう！～	16人

### 3. 令和4年度方南和泉コース 受講者データ

#### 連続講座受講決定者 年代内訳

20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
2	1	4	4	6	6	23

#### 公開講座受講決定者 年代内訳

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
9	0	0	3	4	2	2	20

#### 受講動機（開講前アンケートより抜粋）

- ・地域をもっと身近に感じたいと思いました。
- ・①これからの新しいまちづくりや地域コミュニティに関心がある。 ②多様性に合わせた色々な顔が見える地域を作りたい ③幅広い形で多世代多文化交流を進めたい。
- ・コロナ禍で、以前よりも外出の回数が減ったため、楽しい気分が少なくなりました。だから同じ方南和泉に住む方々と共通の話題を持って、話し合う時間が欲しいと思いました。
- ・昨年度よりこの和泉地域に引っ越してきました。地域の一員として、私にできることを考えたいからです。
- ・杉並区民となって、20年近くが過ぎましたが、フルタイムの仕事のため、地域活動になかなか参加できずにいた。大人塾の講座には以前から興味があった。今回は参加日に人の手当がついたので、参加できることになった。
- ・何かできることがあるのか知りたかった。
- ・昨年12月に退職し、新型コロナにより活動に制限がある中、地域になにかしらの関わりを持ちたい。
- ・自分の地域のつながりづくりと、仕事にもノウハウを生かしていきたい。

### 4. 成果と課題

#### 【成果】

ゲストトークとそれに関連するテーマのワークショップという形を基本形にしなが、第3回講座では実際に体を動かして「ごみの仕分け」をしたり、第4回講座ではグループで「誰もが使いやすいコンビニとはどんなものか？」を話し合ったりなど、様々な形態をとるように工夫しました。そうしたことで、普遍的な社会課題を楽しみながら自分事として捉え、行動変容につなげる意識づけができたことが各回講座の感想アンケートから伺えました。

第2回講座は、当初は公開講座という位置づけではありませんでしたが、多くの方から単発での参加希望がありました。その中から第3回の公開講座への参加希望者も出てきて、今まで大人塾を知らなかった方にも知ってもらいきっかけになりました。気軽に1回限りで参加できる公開講座は、今後も取り入れていけると良いと考えます。

第3回講座も、公開講座として、小学校4年生以上の子どもの参加も受け付けました。親子で参加される方、子ども一人で参加する方もいましたが、次世代を担う子どもと一緒に考える良い機会となりました。滝沢さんのお話や進行が素晴らしかったことはもちろん、視察に来ていた区ごみ減量対策課の職員からの解説も交えながら、世代や立場を問わず楽しく学びあうことが出来た講座となりました。多世代が交流しやすいプログラムを提供できれば、より今回の講座の意義を活かすことができたと思います。

前半の3講座は、講演を聞くことやライトなワークショップが中心だったため、チームビルディングが課題と考えていましたが、第4回講座での「誰もが使いやすいコンビニを考えよう」のグループワークでは、各班で活発な議論が行われ、それぞれの視点から良いアイデアが出てきました。これまでの講座の中で、「ここでなら自分の意見を言っている」という安心感・関係性を醸成できていたのではないかと思います。その上で、第5回・第6回の講座の学びをまとめる回につなぐことができたのは良かったです。欠席した回のある方に自分の参加した回の内容を教えあったりする様子も各班で見られ、それこそが学びの振り返りになったのではないのでしょうか。

### 【課題】

第5回・第6回の講座で受講生の皆さんがまとめてくださった内容をもとに、講座成果物として、案内人で、今年度の講座の学びをまとめたリーフレット「大人の寺子屋おもしろMAP」を作成しました。初回講座から、受講生へ「それぞれの班で発表した講座の学びをまとめて、成果物をつくり、地域へ発信する」という趣旨は説明していたつもりではありましたが、それが受講生自らの主体性を持った目的としてしっかりと受け止められておらず、受講生の皆さんから「なんのためのリーフレットなの？」といった反応が、終盤に改めて出されたことがありました。講座の目指すゴールを受講生と共有する難しさとともに、成果物の位置付けを受け手にとってどういう意味があるのか、より明確にしておくことが必要でした。

また、普遍的な社会課題を、地域の風景や個々人の暮らしの問題として考えていく場を目指したことについて、講座終了後すぐのアンケートなどでは、個々人の課題意識の変容等が見受けられたものの、少し時間をおいた最終回での感想などでは、「何かしてみたいけどまだ何をしたらいいのかわからない」という声も一定程度ありました。地域コースとしては、社会や地域を構成しているのは私たち一人ひとりであり、私や私たちが取り組む身近な一歩が社会や地域の変容にもつながっていく、という見通しをもてるような学びも講座のなかにしっかりと位置付けていく必要を感じました。その意味で、感想の中には「まずは案内人の方の関わる学校支援本部に関わってみたい」などの声もあったので、コースの受講を通して得た地域の一員としての意識や意欲をもって、まずは案内人の方の参加するイベントや活動と一緒に参加することから受講生が地域へつながっていくことができるよう、案内人の協力も得ながら支援していきたいと考えています。

3年間のすぎなみ大人塾 方南和泉コース。1年目は参加者で、2・3年目は学習支援者として携わらせていただきましたが、案内人の皆さん・ゲストの方々・そして参加者の皆さんと沢山の出会いに恵まれ、地域のこと、暮らしのこと、様々な気づきをいただきました。ご近所との繋がりを持つ、何か活動に参加する、歴史を知る、まず自分の暮らしを丁寧にする。地域と関わるあり方は人の数だけいろんな形があって、だからきっと方南和泉はもっと面白くなると思うし、自分にできることもきっとまだまだあるなあと思えました。本当にありがとうございました。

後藤 裕子



## 方南和泉コース

学びの案内人  
(学習支援者)

後藤 裕子  
(合同会社 はじまりの和泉 代表)

まちの案内人  
(学習支援補助者)

飯島 典子  
岩崎 彰宏  
田中 美江子  
前田 穂奈実  
矢口 祥子  
矢部 由美子  
吉橋 正美



今回は「地域の防災」「環境問題」「誰もが暮らしやすい地域」と身近で大切なことを学べる講座がありました。それを学ぶだけでなく、グループで話し合い、まとめ、発表しました(どれも素晴らしかった！)。地域にどう発信するかも話し合いました。どの回も、会場中に「ち」(地、知・智、値・・・)が溢れていたように思います。

これら学んだことを実際に地域に繋げていきましょう。

飯島 典子



3年間は、あっという間に過ぎ去ってしまったように  
思います。

コロナによって振り回された3年間でした。  
オンラインという、新たなつながりの手法が生まれ、  
何とか地域や身近な人とつながりを作り、何か新  
しい一歩に踏み出すことを、みんな  
一生懸命だったと思います。

講座は終了しましたが、これからがスタートだと思  
います。

みなさん、ゆるやかに、また会いましょう。

岩崎 彰宏

「すぎなみ大人塾 方南和泉コース」3年間にわたり  
携わることが出来て皆様には大変お世話になりまし  
た。案内人とはいえ、沢山学ばせていただきました。1  
～2年目は仕事の都合で欠席したり、コロナ感染予  
防でリモートや中止もありました。3年目は集大成とし  
て頑張りたかったので欠席なしで終わることが出来まし  
た。皆様との絆もできて今後も何かしらのかたちで参  
加出来たらと思っています。

ありがとうございました。

田中 美江子



大人塾に3年間携わり、多くの人に出会い、一人一人がもつ価値観を大切にすることを学びました。

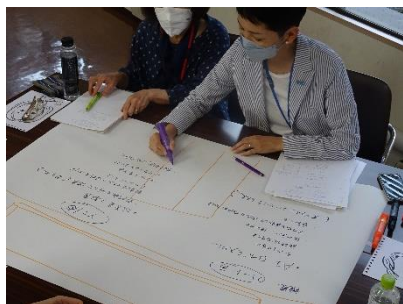
まちづくりには、答えが何通りもあって間違いがないことを知り、間違いや失敗を恐れずに、だんだん他者と積極  
的に関わるようになりました。皆さんから出るアイデアは思いもしないものばかりで、毎回の講座が楽しみでし  
た。そして、好奇心旺盛でエネルギッシュな方が多く、皆さんに会うたびに元気をもらっていました！

皆さんとの学びは宝です！！この経験を次に活かします。

前田 穂奈実

自分から積極的に人に関わることで、どんどん住みやすい町になっていく面白さを感じています。大人塾に参加することで、その一端を味わっていただければ幸いです。

矢口 祥子



ご参加の皆様、案内人の皆様、また講師の皆様！三年間本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

三年前の初回ではまちあるきで、地域の人や町の成り立ちを学びました。

二回目では人とのつながりがどのように出来るのかを学びました。

最後の三回目では集大成として、地域の知を集めての暮らし方を学ぶことが出来ました。

そのような形で総勢 100 名に及ぶ方々と一地域について語り合えたことは素晴らしい力になると確信しています。

これから色々な活動に参加していられる時も、今回の講座がきっと大きな力になることと思います。

矢部 由美子



案内人の皆さま、  
3年間、本当に  
ありがとう  
ございました！



参加いただきました皆  
さま、ゲストの皆さま、  
ご協力いただきました  
皆さまに感謝します！



### 第1回 地域とのつながりとは？ ～はじめの一步を踏み出そう～

日 時：令和4年7月11日（月）

午後1時30分～4時

会 場：方南会館

参加者：18人

ゲスト講師：西川 正さん

（特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉 常務理事）



#### 【講座内容】

第一回目が、リアルで開催できて本当に良かったです。

冒頭の、パワーポイントによるスタッフ紹介は、一同をすっかり和ませてくれたものになったと思います。

西川先生は、常にワクワク感を増幅してくれます。

人と会うこと、会話をすることの楽しさを、何気ないワークの中で実感させてくれることには、いつも驚きとうれしさを感じます。



みんなで、「わいわい」、「がやがや」しながら何かを作り上げていくプロセスが大切であること、そしてそれが楽しいことを実感させてくれる。

問いは1つ。答えは、それぞれ。

「あなたの好きなものは何ですか？」

これから、みんなでどんな花を咲かせ、どんな実を实らせるのか、楽しみです。

みなさん、よろしくお願いします。

（記録担当：まちの案内人 岩崎 彰宏）

#### 【受講生の声】

- ・西川さんのイベント素晴らしいです。定期的で開催すれば地域も盛り上がりそうです。
- ・西川さんの人を巻き込む力はすごいなと思いました。楽しかったです。
- ・西川さんのお話が興味深いものばかりで聞いていて楽しかったですし、参考になりました。初参加で緊張していましたが、緊張がほぐれるような空気を作っていただいたスタッフの皆様にも感謝です。
- ・西川さんの話で色々具体的な取り組みをされているのを知り、面白く拝見しました。楽しい時間が地域を元気にするという事に納得しました。
- ・思ったよりずっと楽しく過ごさせていただきました。



## 第2回 安心・安全な暮らしとは？ ～地域の防災を考えよう～



日 時：令和4年7月28日（木）午後1時30分～4時

会 場：専修大学附属高等学校

参加者：24人（うち単発参加者9人）

ゲスト講師：山内 泰彦さん（堀ノ内南町会防災会 副会長）

【講座内容】

堀ノ内南町会防災会副会長 山内（やまのうち）さんをお招きし～地域の防災を考えよう～をテーマに講演していただきました。建物のメンテナンスの関係で音が出ないというアクシデントもありましたが、前半は「地震」、後半は「台風・水害」について画像をまじえてお話しいただきました。

今回は、連続参加者に加え単発参加の方がいたため、グループ分けは偏らないように番号札を配り7グループとしました。講演後の感想共有では活発な意見交換ができていました。

平時からの備えの大切さ（自助）・地域との繋がりの大切さ（共助）・備えておくと良いもの（防災トイレなど）たくさんのことを学び、考えなければならないことの多さを感じました。実際にあると便利な物を見せて頂き参考になりました。

今回の講座をきっかけに地域防災の意識が高まることに期待しています。

（記録担当：まちの案内人 田中 美江子）



【受講生の声】

- ・〈生き埋めになっている方を助けるのは、私達〉という意識を多くの人に知ってもらいたい。周りにどんな人が住んでいるのかを把握していれば、助けられる命も多くなるのだろう。
- ・自分の身は自分で守るのは基本なのですが実際とても不安です。山内様のような経験なさった方のお話をもっと聞きたかったし、これからも聞きたい。
- ・地域で、災害時にも生きるつながりが、つくっていただけたらと思った。
- ・防災について、家族以外の方がたと話し合ったことがない！ 地域の助け合いの必要性を強く感じました。

## 第3回 ごみと暮らしの関係性とは？

### ～身近な環境問題に取り組もう～

日 時：令和4年8月18日（木）午後1時30分～4時30分

会 場：方南小学校

参加者：30人（うち単発参加者15人）

ゲスト講師：滝沢 秀一さん（芸人・ごみ清掃員）



### 【講座内容】

大人塾第3回講座「ごみと暮らしの関係性とは？～身近な環境問題に取り組もう～」を開催しました。ゲスト講師に、ごみ清掃員とお笑い芸人の二足の草鞋を履く「マシンガンズ滝沢秀一さん」をお招きしました。

滝沢さんの講演を聞き、3種類に分別するワークショップを行いました。講演では、実体験に基づいた現場の声やゴミを減らす方法について学びました。滝沢さんが広めたいという言葉である「ラストロング」は「愛しているものなら、



命なくなるまで使う」という意味です。日々の買い物でラストロングを思い出して、本当に必要なものか見極めてから購入しなければいけないと考えさせられました。ワークショップでは、グループごとに分別を行い、滝沢さんや行政の方から講評を頂きました。どのグループもほぼ分別ができていました。

最後に、自分がゴミを減らすためにできることについて皆に行動宣言を行い、学びを行動に移すぞという熱い気持ちになり、終了しました。

(記録担当：まちの案内人 前田 穂奈実)

### 【受講生の声】

- ・「先のことを考える」というのは、すごく大事なことだなあと改めて思った。自分が捨てたゴミの先。道路でばらけないか、清掃員さんを困らせないか、リサイクルしやすいか、最終処分場は少しでも長持ちするか。先にいる人、環境、先の未来を考えて行動したい。
- ・ごみを自分ごととして捉えるようになった。分別しきれないごみの事例など清掃員を困らせていたのは私だと感じ、反省した。
- ・周りの人にどうやってらわかってもらえるかなあと感じた。意外と無関心な人が多いし、「分別しようよ！」と言うくらいではなかなか変わらない気がする。
- ・子供や若い方にもとても分かりやすく楽しいお話でとても身近に感じられました。勉強になりました。まずは生ゴミの水切りをしっかりとします！

## 第4回 誰もが暮らしやすい地域とは？

### ～ユニバーサルデザインから学ぼう～

日時：令和4年9月15日（木）午後1時30分～4時

会場：方南会館

参加者：17人

ゲスト講師：星川 安之さん

(公益財団法人 共用品推進機構 専務理事)



## 【講座内容】

共用品推進機構星川安之氏の講演を25分聞いた後、「誰もが利用しやすいコンビニを考える」のワークショップを行った。好きなおでんネタで班分けをし、それぞれ店長（進行、まとめ）、発表者、コメンテーター（前の班の発表にコメントをする）、タイムキーパー、書記を決めた。まず店名を考え、ハード面、ソフト面から検討し模造紙にまとめて発表した。

1班 店名『こんにやく』 コミュニティスペースになるようなコンビニにする。イラスト入りで発表。

2班 店名『やさしいコンビニ』 ユニバーサル案内板の設置、バーコードやカードをレジに出すと、店員が商品を倉庫から持ってくる。陳列品が最小限になり通路が広がる。

3班 店名『ホットまったりコンビニ』 みんなの憩いの場になるコンビニ。マイバックで出口で自動計算できるシステム。



4班 店名『優しいコンビニ』 入口にAIを置く（音声、タッチパネル対応など）。オンラインショッピングもできる。

5班 店名『スギバーサルマート方南和泉』 井戸端会議ができる場にする。売りは「うざりたい」。

討議に55分取ったが時間が足りないくらいたくさんの意見、提案、検討がすごい熱気だった。

（記録担当：まちの案内人 飯島 典子）

## 【受講生の声】

- ・どうしたらお互いに気持ち良く生活できるかを、初めて考えました。
- ・自分の小さな気づき、行動で暮らしやすい人が増えるという意識が芽生えた。
- ・地域の人たちが気軽に集まれる機会が増えたら良いな。困りごとを地域の人々で解決できる場がたくさんあればよいと思います。
- ・「自分が店長だったら」と考えていくことで、責任が生まれ、主体的な意識が身につくなと思いました。
- ・身近に自分ができることを常に意識できると社会は変わる。教育の大切さを実感できた。

## 第5回 つながりと学びで深まる地域の“知”から

### ～これからの活動を考えよう～

日時：令和4年10月6日（木）午後1時30～4時

会場：方南会館

参加者：15人



### 【講座内容】

第5回の講座では、過去の講座を振り返り、成果物のキーワードとなる3つのワードと解説をフォーマットに記入。チームごとに共有し、模造紙にイメージを書き始めました。

次回も少し作業の時間を取っていますが、どんどん話し合いを進めて、すでに形になっている班も。各班の工夫を凝らしたまとめに、次回の発表が楽しみです！

(記録担当：まちの案内人 矢口 祥子)



### 【受講生の声】

- ・振り返りしてよかった。でも、まとめ、発表はたいへん！
- ・社会の問題、課題に大人で楽しく真剣に話し合える場は貴重だなと思いました。
- ・ここに集まる方々のやさしいお気持ちがうれしく、いつも楽しみにしています。情報発信をしつづけることによって、少しでも輪が広がっていくことを願っています。
- ・私の4班は、とても積極的に意見を述べられる方が多く色々と勉強になりました。3つのテーマの内容もまとまっていると思います。

## 第6回 住み続けたいまちNo.1「方南和泉」へ

### ～次の一步を踏み出そう～

日時：令和4年10月27日（木）午後1時30分～4時

会場：方南会館

参加者：16人

### 【講座内容】

大人塾・方南和泉コースの最終講座も無事終わりました！  
スタッフや案内人、参加者の皆さま本当にお疲れさまでした！

3年前に大人塾の参加を請われ、案内人の何たるかもわからずお受けしてしまい、いまだにはっきりとわからずに皆さんと共に進んで参りました。良い案内が出来たかは心許ないですが方南和泉地域について学び、人のつながりを学び、一つステップアップ出来たような心地よい余韻があります。

最終の今回は成果物についてのまとめとして、よりよくするご意見がたくさん集まり、発表も堂に入ったものでした。





まるで、編集者やプランナーのように目的や見解の目線がまるでブ  
ロ！そのような意見をまとめ、最終的に作り上げる案内人やスタッフ  
の皆さんはさぞかし大変だろうと他人事のように考えてしまいます。  
3年間の集大成に向けて、また今後の大人塾の糧になるよう、もう  
ひと頑張りです。

長い間ありがとうございました！

(記録担当：まちの案内人 矢部 由美子)

#### 【受講生の声】

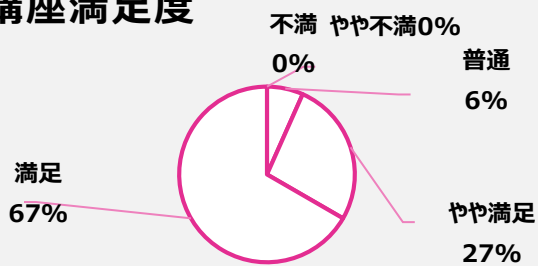
- ・6回の集大成ができ安心しました。メンバーのみなさんがエネルギー高くよい場に参加できたと思います。地域と共に生きる意識がさらに強くなりました。
- ・毎回とても楽しく参加させていただきました。
- ・今日で講座は最後ですが、これから新しい事が始まるかと思うと楽しみです。
- ・それぞれによく考え、結論を見いだされて良い発表の場でした。ただ聴くだけの講座でなく、みんなで考えてまとめて発表できたことうれしく思いました。



# 方南和泉コース 塾生の声



## 講座満足度



005 | ペンネームさん

毎回、よく工夫されたプログラムだったと思います。

006 | 清水さん

それぞれが個性のある方ばかりで楽しいと思いました。

001 | T.Iさん

私は、今回の講座で方南和泉地域を知ることが自分のテーマとして講座に参加させていただきました。方南和泉地域のことを知るだけでなく、他にも様々なものや経験を得られたと思います。他の参加者の考え、意見もいい学びになりました。ありがとうございました。

002 | けいごさん

地域のことを身近に感じられたのが一番嬉しかった。

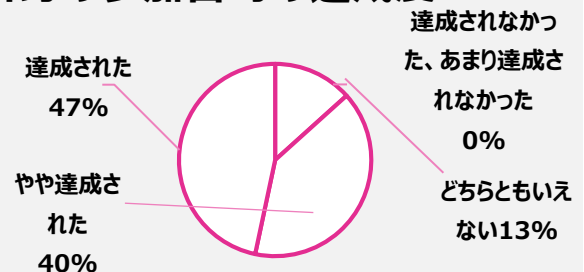
003 | ノグチさん

普段使わないところの頭を使うので、毎回終わった後は心地よい疲れがありました。杉並区愛が深まりました。

004 | タドさん

人付き合いが苦手で大変でしたが、いろいろ考えくださっていて感動しました。

## 自身の参加目的の達成度



001 | 平野さん

全員が意見を言える環境でよかったです。

002 | ともちゃんさん

住んでいる地域ではなかったのですが、色々な方と関わりを持つことができ、色々なお話を聞くことができ達成感でいっぱいです。

003 | 渡邊さん

地域のこと又は住民としての義務を知りました。

## 方南和泉地域のイメージの変化

001 | あっきーさん

地域の人が見え、講座に通う為にお店も利用する機会を得たので前より好きになりました。

002 | H.Iさん

頑張っている人たちがいる事を実感しました。

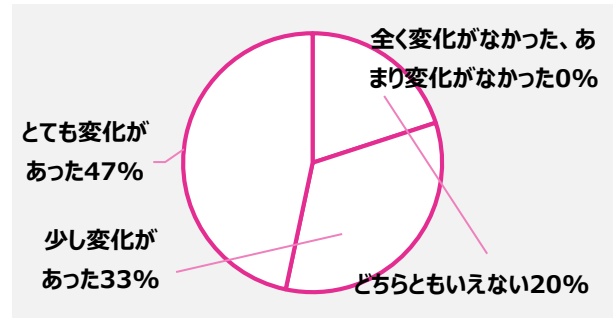
003 | Qちゃんさん

関心のある方が少しずつ増えて行くのを感じました^o^

004 | ともちゃんさん

まったく知らない地域でしたが、みなさんいきいきとされていて、アットホームな楽しい方ばかりでとっても好きな地域になりました。

## 自身の価値観や生活、地域への気持ちの変化度



001 | ASさん

地域を大切にすること、ゴミのことなど考えさせられました。外掃除などちゃんとやろうと思います。

002 | タドさん

参加することから運営にも興味が湧きました。

003 | 渡邊さん

その地域その場所で皆さんが努力しているのを知りました。

004 | けいごさん

"ありのまま"を大切にしたい街づくりに携われたら嬉しい。

## 新しく始めた、始めようと思っていること

001 | 坂本さん

積極的にいろいろなイベントに参加したい。

002 | 齋藤さん

サンタの学校～サンタボランティアで地域デビュー。

003 | H.Iさん

視野が少しは広がったと思いますのでチャンスがあれば活かしたいと思います。

004 | T.Iさん

自分の無理ない範囲で地域に参加してみようと思いました。多くの方々と交流したいです。



# 方南和泉コース3年間の成果マップ

## ～大人の寺子屋～

学習支援者 2020 西川さん  
2021 後藤さん  
2022

まちの案内人 岩崎さん 前田さん  
飯島さん 矢口さん  
田中さん 矢部さん

2022

学びで得られた地域の“ち”から



「住み続けたいまち 方南和泉」への学び

災害時も役立つ地域のつながりの大切さ

相手のことを思う想像力

月1交流会



大人の寺子屋  
おもしろMAP

地域で活動することの楽しさ

多世代で未来を考える場

滝沢さん

レモネード活動

西川さん

子ども

ラストロング  
区職員

神田川クラブゴミ拾い  
(町会・子どもたちも参加)

サンタボランティア

永福和泉センター協議会委員希望者

2021

つなげよう 方南和泉の“わ”



人と人とのつながりのヒントやアイデア

オープニング

受講生が自宅を「住み開き」

受講生同士のつながり

オンライン交流会

地域の拠点づくり

オンラインでも講座開催

樋口さん

西川さん

町会イベントへの有志出展  
道端書道展・ゼロ円市

土屋さん

明治大学和泉ボランティアセンター

ボランティア

鍵屋さん

ご近所力

町会とのつながり

サンタごみ拾いボランティア

2020

ディープなまちで、遊びと学び



楽しく遊びながら、地域のことを知る

身近なまちが、ワンダーランド  
(公開講座)

レストナック幼稚園

子ども子育てプラザ和泉

永福和泉センター協議会委員誕生

方南小学校

専修大学附属高校

方南和泉  
人物かるた



方南銀座商店街

オバケン

ヘビーカー・おろすんジャー

講座の感想や地域の面白い人を  
川柳で表現

地域への興味・関心の第1歩

歴史散策(まちあるき)

梅田さん

忍者の諜報活動(商店街まちあるき)